

2019年度豊陵会東京支部総会の開催

本年度東京支部総会・懇親会は6月23日(日)午前11時から霞が関ビル35階東海大学校友会館「望星の間」で開催されました。中19回生から新卒高71期まで参加者は過去最多の153名に及び、高齢の会員に付き添うご家族や1歳のお子様連れでのご参加など活気のある集いとなりました。



第一部の総会は手塚紀子副支部長(高28期)の開会の辞に始まり、活動報告(松本俊二支部長・高21期)、会計報告(紀伊美香子会計・高31期)及び監査報告(梶田佐登志会計監査・高22期)、すべての議案は野澤享議長(中19回生)のもと、承認されました。



ご来臨の豊陵会本部高坂会長より、2年後の母校創立100周年記念事業について、平野校長先生からは、母校が2009年から2019年までの10年間で難関国立大学への合格者人数の増加数で、西日本では2位、全国10位にランクされているとのお話がありました。

恩師の長瀬尚先生からは、地球物理研究会とアメフトの文武両道の顧問を経験したことはよい体験で、当時アメフトは危険な競技として廃部すべきとの意見もあったが、在任中4度の優勝を果たしたおかげで廃部騒ぎは消滅した。また地研卒業生には、先生や研究者として活躍している人も多いとのお話でした。豊高生の素晴らしい気質を物語るいくつものエピソードもご紹介頂きました。

なお、今年も中部支部から寺倉副支部長にもご来臨いただき、中部支部の活動状況や両支部の交流を深めたいとのご挨拶を頂戴しました。



第二部は東京藝術大学4年生、尾崎勇太さん(高67期)のフルートによる、C. Chaminade 作曲のクラシック曲から、自作曲、松任谷由実さんの『ひこうき雲』、アンコール曲には、尾崎豊さんの『I love you』が友人、氏木大地さんのピアノ伴奏で披露されました。幅広い年代の皆様の方に響く演奏でした。尾崎さんは卒業後音楽家としての道を進みます。専攻のクラシックの他、YouTubeでJ-POPの演奏もアップしています。7月には【フルート武者修行の旅】として福岡・大阪・名古屋・東京での演奏会を開催します。



第三部懇親パーティーは市田裕さん(高9期)の乾杯のご発声で始まり、卓盛・着席のどのテーブルもにぎやかに話が弾んでおりました。



恒例のマッチング&アピールコーナーには豊富な情報提供がありました。本部の伊藤事務局長から「母校創立100周年記念事業」のご説明と「ヒマラヤ杉の植樹」を実現するために募った寄付金は45,371円でした。皆様ご協力ありがとうございました。有志会員からご寄贈を受けた高級シャンパン「ルイロデレール」などを賞品とした「じゃんけん大会」は、今木誠新書記(高30期)の良きリードで盛り上がりました。



鍋島由起子さん(高33期)の指揮、大澤美穂さん(高43期)のピアノ伴奏で全員による校歌斉唱、最後に松田研治書記(高21期)による閉会の辞で、来年の再会を約して総会・懇親会の幕が閉じられました。



第一部から第三部まで、司会進行は今木誠新書記(高30期)と日永佳子常任委員(高38期)でした。「長瀬先生を囲む会」には30名が参加し懐かしいひとときとなりました。皆様のご協力のもと総会すべての行事が大変盛況に終了いたしましたことを深く感謝申し上げます。



【東京支部支部長 松本俊二(高21) 写真提供 川島格(高11)】